

TSC-006 Type

流通式超臨界分光セル

可視部をできる限り大きくした超臨界セルです。

特徴

1. 研究室等のスペースを考慮したコンパクト設計になっております。
2. 反応容器本体窓部は、少ない締め付けトルクで高温高圧下でも高いシール性を実現できるTTSシール機構（特許出願中：特願10年346517号）を採用しております。
3. 本反応容器は高温高圧にも関わらず窓可視部が15 と大きく、目視、分光用として最適です。
4. カートリッジヒーターの採用により、十分な昇温スピードと制御精度の高い安定した温度コントロールが可能です。



本装置は予熱器、超臨界反応容器、コンデンサー、制御ユニットより構成されています。お手持ちのポンプにより水等の媒体を予熱器を経て反応容器に仕込み、あらかじめ反応容器に入れておいた対象物質を、超臨界状態で反応、分解及び燃焼させることができる構造です。窓付容器のため光照射による分光、吸光分析や、CCDカメラや肉眼による超臨界状態の観察も可能です。また窓は幅広い透過波長（250nm～3500nm）を持つサファイアガラスを使用しています。

仕様

容器本体：	材質：HC-22
窓押さえ材質：	インコロイ800
窓材質：	サファイア 25.5×13t
容積：	60ml
窓部シール方式：	TTSシール機構使用
最高使用圧力：	40MPa
最高使用温度：	550
容器寸法：	141×152.3 L

カートリッジヒーター

予熱器用電気炉： 二つ割り方式

制御盤

電源： AC単相200V 40A

付属部品

1. バルブ
2. 安全弁（ラプチャーディスク）
3. 予熱器
4. 予熱器用架台
5. カートリッジヒーター
6. 圧力センサー及びデジタル表示器
7. 温度制御盤